

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	鉄筋コンクリート厚肉壁式床壁構造設計指針作成小委員会	主 査 名：今川憲英 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築計画および構造計画上、有用なコンクリートの連続性を生かした立体的な鉄筋コンクリート造による厚肉の耐力壁とスラブより構成される構造を対象として、「(仮称)鉄筋コンクリート厚肉壁式床壁構造設計指針 (案)」を作成する。 初年度：RC 厚肉壁式床壁構造に関する既往文献の整理・検討 2 年度：RC 厚肉壁式床壁構造設計指針 (案) 本文案の作成および検討 3 年度：同上解説原案の作成 4 年度：RC 厚肉壁式床壁構造設計指針 (案)・同解説原案の作成	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：今川憲英 (東京電機大学名誉教授) 幹事：井上芳生 (INO 建築構造研究室) 委員：清水良太 (TIS)、鈴木英之 (安藤・間)、高橋智也 (大成建設)、津田和明 (近畿大学)、平松道明 (大成ユーレック)、カストロ・ホアンホセ (琉球大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	RC 厚肉床壁構造解析モデル検討WG： 厚肉スラブの有効幅 (1 次設計および 2 次設計) や、接合部のパンチングの設計について、FEM による解析的研究、厚肉床壁接合部の実験結果の検討、および既往の研究の整理を行い、設計指針に内容を反映する。	
2017 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s5/s540/index_s540.htm">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s5/s540/index_s540.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の活動計画通り、設計指針 (原案) を作成した。
委員会活動の問題点・課題	1. 厚肉スラブの有効幅や接合部のパンチングの設計方法に関し検討課題が残った。これら検討課題は、来年度設置予定の「壁式鉄筋コンクリート厚肉床壁構造検討小委員会」で継続して検討を行っていく。また、設計指針案刊行には、設計例を作成する必要がある。